

## 景観について共に考えよう



市内の豊かな自然や歴史・文化などの地域資源を次の世代に継承するため、三好市の景観の魅力や課題などを共に考え意見を交換しようと、3月13日、三好林業総合センターで第1回景観ワークショップが開催されました。市内の住民団体などから約20人が参加し、三好市の残したい景観や改善すべき点などグループごとにさまざまな意見を出し合いました。今後も各地でワークショップを開催し、その成果を景観計画の検討に活かしていく予定です。

## 今年もアイランドリーグ



四国・九州アイランドリーグの交流戦が3月13日に池田球場で行われ、地元の徳島インディゴソックスは社会人チームのシティライト岡山と対戦しました。結果は3対8とこの日は敗戦してしまいました。当日はあいにく雨が降っていましたが、三好市での試合も回数を重ね、市内のファンも増え、たくさんの観客が池田球場を訪れました。そして観客は、冷たい雨のなか、選手たちに熱い声援をおくっていました。そして今シーズンの活躍を願います。

## 第二の人生を生き活きと



三好市老人クラブ連合会主催による第2回豊齢式が、3月11日に池田総合体育館で開かれました。これは65歳を迎えた方を祝う式典で、市内の対象者や老人クラブ関係者ら約80人が出席しました。伊丹連合会長から、第二の人生を元気に過ごし、これまでに培った豊富な知識などを地域のために大きな力として与えてほしいとあいさつがありました。式典後、「豊齢期を生き活きと生きる」と題し倉本教育長による記念講演も行われました。

# まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、  
どんなことでもいいので耳より  
な情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課  
☎0883-72-7646

## うれしい楽しいひなまつり

桃の節句の3月3日、池田総合体育館ではぐくみひなまつりが開催されました。この日は市内の保育所などに通っていない子どもたちや保護者が参加し、元気な声で会場はにぎわいました。おひなさまの衣装を身にまとい写真を撮ったり、歌や手遊びもあり、子どもたちはリズムに合わせて手をたたいたり踊ったりしていました。親子で楽しく遊び、また近い歳のお友達ともふれあう機会ができ、親子ともにとっても喜んでいました。



## 広くて明るい図書館に



建物が古く、狭かった池田図書館が、4月1日に中央図書館と名前を変えて、サンライズビル4階に移転し、広くて明るい図書館に生まれ変わりました。開館直後、たくさんの利用者が訪れ、ゆっくりと時間を過ごしました。新しく写真等作品を展示する市民ギャラリーや郷土の偉人紹介コーナー、シアタールームなども設置され、充実した図書館となりました。中央図書館の詳しいご案内は、市報来月号にて掲載する予定です。

## 桜の下で賑やかにお祭り開催



晴天のもと、3月28日に第11回馬路さくらまつりが馬路小学校で開催されました。今年は桜の開花も早く、暖かい日差しの中、大勢の人で賑わいました。馬路小学校児童の鼓笛やダンスとともに始まり、カラオケ大会や金魚すくい、ビンゴゲームなども行われとても盛り上がりしました。パザーでは地元馬路で作られたお米の販売や、うどんや団子なども売られ舌鼓を打つなど、思い思いに春の訪れを楽しみました。

## プロの指導にはつつプレー



市内の小学生サッカーチームを対象に、クーパー・コーチングスタッフを招いたサッカー教室と指導者講習会が、3月14日に三野サッカー場などで行われました。クーパー・コーチングとは、個人の能力を最大限に伸ばしチーム力の向上につなげる世界でも高く評価されている指導法です。子どもたちは、ドリブルやフェイントなど基本的な体の動きをお手本をみせてもらいながらわかりやすく指導を受け、とても楽しく、意欲的に取り組んでいました。

## 地元でミニバスケット大会



三好ミニバスケットボール大会が3月7日に池田中学校で開催され、県内8チーム、三好市からは山城ミニバスケットボールクラブと三野若芝ミニバスケットボールクラブの2チームが男女ともに出場しました。山城ミニバスケットボールクラブは小さなチームで、大会などに参加する機会が少なく、選手たちは寂しい思いをしていたようですが、多数の企業にご協力を得てこの大会を開催できるようになり、試合をとおり友情を深めることができたようです。

## 交通安全対策を話し合う



地域に密着した交通安全対策を図ることを目的に、三好署で交通安全・MIYOSHIフォーラムが開かれました。この日は三好市や東みよし町から小中高生や高齢者、教員など幅広い年齢層の方ら約60人が参加し、6つのテーマに分かれて交通安全対策について意見を出し合いました。その後、各テーマごとにまとめて、「夜間は服装を明るく反射材をつけて安全に」「クイズなどをして交通安全運動に親しみやすく」などさまざまな意見が発表されました。

## 私たちと地域の未来のために



体験型観光の分野で活躍し、小学生の受入れを実践している各地の方々を招き、山城公民館において子ども農村漁村交流プロジェクトセミナーが開かれました。セミナーでは、子どもたちに日常では体験することができない人や自然とのふれあいを体験させてあげることで、生きる力を育むことができるということ、また地域にとっても魅力を再発見でき地域経済効果が期待できるということなどが話され、多数の参加者らは熱心に聞き入っていました。